



2016～2017年度
国際ロータリー会長

ジョン F. ジャーモ
John F. Germ
(USA・Chattanooga RC)



Tagajo Rotary Club

RI club No. 13674
Since 1972.03.25

2016-17年度
国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕する
ロータリー

第2520地区ガバナー
濱守 豊秋
(大船渡西RC)

会長 佐藤 仁一郎 幹事 佐藤 良一

雑誌会報委員会

◇ 事務所/宮城県多賀城市八幡四丁目2-12 イトビル2F ◇ 例会日/木曜日 12:30～
TEL.022-366-4499 FAX.022-366-4548 ◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城
宮城県多賀城市桜木一丁目1-60
◇ URL;http://www.tagajo-rc.com Email;info2@tagajo-rc.com TEL.022-367-1111

2017年6月8日(木) 第2181回 今年度第42回例会

会場監督	鈴木 誠
開会点鐘	12時30分
ロータリーソング	我等の生業
ビジター・ゲスト	仙台レインボーRC 秋田 陽子様
今月のお祝い	2016-17年度地区表彰ガバナー賞 会員増強に対するガバナー賞 多賀城RC 佐藤仁一郎会長



の目玉が二つありました。一つは交流会でのジュンサイ鍋です。大変美味しく頂きました。家でやってもこの前のようにならないので今日秘密を聞いて帰りたいと思います。二つ目は乳頭温泉の混浴露天風呂でしたが、残念ながら時間の関係で寄れなくなり、次の機会に持ち越しとなりました。交流会で能代 RC のバナーとバッジを頂戴しました。バッジは今年度の 2540 地区バッジと次年度の 2540地区バッジです。今年度は稲穂がデザインされており、次年度は能代ねぶながしの「しゃちほこ」がデザインされています。回覧しますのでご覧ください。当クラブのバナーを持参しませんでしたので、お礼状と共にお送りしようと思います。

本日の例会を入れまして今年度3回の例会となりました、本当に残り少なく感じて参りましたが、最終例会迄全力で参ります宜しくお願い致します。



楽しい移動例会でした。能代 RC の皆様、誠にありがとうございました

会長挨拶 (要旨) 佐藤 仁一郎 会長

本日は仙台レインボーRC 秋田陽子様ようこそ。ロータリーリーダーシップ研究会につきまして、後程スピーチを頂きます。宜しくお願い致します。

先週移動例会、20名で能代に行って参りました。能代 RC の皆様との交流会、能代クラブの島崎会長様はじめ多くの皆様の歓迎を頂きまして楽しく和やかに夜遅くまで交流して参りました。能代クラブから次年度ガバナー輩出ということで、柳谷ガバナーエレクトも出席頂いて、懇親を深めて参りました。二次会まで大交流会となりました。次の日は能代火力、能代ねぶながし館、熱帯植物園エナジウムパークを見学し火力発電所の壮大なスケールと能代七夕「ねぶながし」の名古屋城をかたどったという大きな迫力ある大灯籠とベーと舌を出した能代風「べらぼう風」を拝見しました。

熱帯植物園はミッキーマウスの樹などの珍しい熱帯植物など大変感激致しました。その後、天然秋田杉の殿堂、能代市旧料亭「金勇」を拝観して参りました。こちら中広間の天井、9m の天然秋田杉に大変圧巻致しました。二階も110畳の大広間で秋田杉を丸ごと使ったという歴史的建造物を拝観させて頂きました。この度の交流会、各所プランは、千葉会員に大変骨折りました事感謝申し上げます。移動例会出発前、企画

幹事報告 佐藤 良一 幹事

- ◇RI 第 2520 地区ガバナー事務所より
 - ・第14回ロータリー韓日親善会議申し込みについてのご案内
 - 日時:2017年9月23日(土)13時～
 - 場所:グランドハイアットソウル
 - 登録料:1万6千円
- ◎会報をいただきました。有難うございます。
 - ・仙台西、仙台東、鹿児島南各RC様

委員会報告

- 親睦委員会 小向祐子委員長
 - ・能代移動例会の報告

卓 話

演題「RLIについて」 担当:大場 裕之 会員
ゲストスピーカー 仙台レインボーRC 秋田 陽子 様

この度ご縁がありまして卓話にお伺いいたしました。多賀城ロータリーの皆様とは水仙プロジェクトなどで一緒にしたりして楽しい時間を共有して参りました。



今年 RLI の委員会の委員長になったので、知り合いの顔を見るとすぐ「出席してよ」と誘うようになりました。その RLI の第 1 期の卒業生 22 名のうちお二人がこのクラブから出ました。横田会員と鈴木誠会員のお二人です。おめでとうございます。

RLI とは聞いたことのない委員会だと思います当然です。地区に今年度初めてできた委員会です。8 年前初めて日本に登場した世界的なロータリー勉強会です。私は日本上陸 2 回目の研究会に出席できました。東京で開かれたパート II に 2520 地区から 7 人の仲間と参加しました。その時の興奮ははまだ覚めやらぬほどのものでした。こんな勉強会があったのか。クラブに帰って話をしないと。何が違うかって。ロータリーセミナーってどんなものですか？偉い方が壇上に上がって演説をする。手を上げて無視をする……。RLI は全く違っていたのです。8 人ぐらいのグループで皆が意見を言い合う。それをリーダーがうまくさばく。45 分でまとめ 5 分でアンケートを書き、10 分で移動する。また違う仲間が待っていて、別なセッションを話し合う。そして 9 時半から 5 時まで 6 セッションを話し合って終了する。

3 日間パート I、II、III と勉強して卒業できると聞いて、次を期待していたのですが、日程が合わなくて断念。そのうちばたばたして忘れておりました。

3 年前パソコンでロータリーを見ていたら、RLI という字が踊って出てきて、すぐ 2770 地区「埼玉」に連絡を取りました。参加したいというと、「モウ締め切った」と。しかしここで引き下がる私ではありません。仙台からはるばる行くのだから何とかしてと食い下がり、OK させて当日になりました。行ってみればその日はパート II の勉強会で、東京で受けたものでした。「まっ、良いか。ロータリーだもの何回受けたって勉強になる」と参加。

他地区から来たということで、丁重に扱われ一日を楽しんで受けました。それからパート III、パート I と受け卒業。東京で卒後コースを受けて全課程を終えました。8 年前からガバナーが代わるたび RLI を 2520 地区でもして欲しいとお願いしておりましたが、いつも梨のつぶてでした。

菅原年度になって「RLI って何か分からないけれど」といって笹氣光祐パストガバナー委員長で研修委員が出来ました。彼も 8 年前と一緒に東京で勉強した仲間です。しかし菅原年度には RLI の勉強はできませんでした。

今年、濱守年度になって RLI 委員会ができて本格的にパート I、II、III と勉強会が執り行われたのです。これに

は一年の笹氣 PG の下地作りがあればこそ、ここまで来たのでした。22 名がバッジをもらい卒業しました。112 名が参加し盛り立ててくれました。

来年度の委員長は笹氣光祐 PG です。委員長が代われば委員会も変わります。しかしロータリーのカリキュラムは変わることはありません。来年度は藤崎年度の為、仙台で行われる可能性が高いです。会場が仙台のうちに参加して資格を取ってください。埼玉はエレクト会長幹事が卒業して自分の年度にあわせませす。そうしたいと思いましたが現実には 22.2% でした。まだまだ RLI は知られていません。何回受けても楽しいのです。だって人が代わり 60 人ぐらいの人と一日で知り合えるのですから。

さあ、鈴木会員、横田会員に続いて RLI を受けてください。きっと何かを感じます。RLI は気付きの勉強会なので。そしてその成果をクラブに持ち帰ってください。来年度は視点を変えて受講生になりたいと思っています。本日はお声掛け頂きましてありがとうございました。

スマイルボックス

S・BOX 委員会

- ・今年度あと少しとなりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。佐藤仁一郎会長
- ・卓話担当させていただきました。秋田さんありがとうございました。大場(裕)会員
- ・やっと例会に出席できました。皆様にご迷惑、ご心配をおかけいたしまして申し訳ありませんでした。菅野会員
- ・4 番目の孫が生まれました！佐藤(良)幹事
- ・移動例会大変疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。今度はぜひ乳頭温泉行きましょう。小向会員
- ・先週の能代移動例会お疲れ様でした。能代 RC の皆さんは多賀城 RC の女性陣のパワーに驚かれていたようですね。鶴の湯はまたの機会に！千葉会員
- ・秋田様、大場さん卓話ありがとうございました。
- ・能代移動例会とても楽しかったです。千葉さん、小向さんありがとうございました。

佐山、田口、伊東、林、穀田、大友、横田、阿部(新)、引地、佐藤(徳)、大久保、高井、薩川、小島各会員

- ・秋田様、本日は卓話ありがとうございました。いつもお世話になっております。今日は秋田さんに会うので床屋に行ってきました。鈴木(誠)会員

本日の合計 37,000 円

出席率報告

出席委員会

本日第 2181 回例会出席率 25/38 名 65.79%
前々回第 2179 回例会修正出席率 94.74%

次回卓話

- 6/22 テーマ:「各小委員会年度末業績報告」
担当:各小委員会委員長

閉会点鐘 13 時 30 分

文責:雑誌会報委員会 芦澤 卓也